

緑のカーテンで夏のゴーヤ

緑のカーテン大作戦

大崎町衛生自治会は、6月9日（土）、省エネ対策の一環としてゴーヤの苗を無料配布しました。

つる性植物であるゴーヤを建物の外側に育成させることにより、建物の温度上昇を抑制し、地域一丸となって夏の節電に取り組もうというものです。

同会員は、ゴーヤの苗を配布しながら、今夏の節電を呼びかけました。

配布場所の町保健センターと野方支所には、緑のカーテンで節電に取り組もうと多くの町民らが詰めかけ、長蛇の列ができました。

「昨年、プランターに植えて窓にはわせたところ、節電効果につながった。」

「電気量も安くなり、実もなるので楽しみも2つ。」など様々な意見が聞かれました。



緑のカーテンで節電効果！

昨年、緑のカーテンで室内温度の上昇を防ぐと、庁舎1階の南東部分の窓14か所にネットを設置しました。6月初旬に植え付けたゴーヤの苗は、2か月ほどで緑のカーテンとなり大きな窓を覆いました。

エアコンの使用時間制限なども合わせて節電対策に取り組んだところ、前年度同月を16%削減する効果となりました。

『できることから』を合言葉に気軽にできる節電を各家庭でも取り組みましょう。